

靖国合祀はイヤです・アジアネットワーク
安倍首相靖国参拝違憲訴訟・関西

傍聴席を
埋尽そう！

第二回口頭弁論に結集を！

10月21日（火）午前10時～

大阪地裁202号法廷

※集合時間は9時20分

傍聴は抽選になります。一人でも多くの原告が法廷に入れるよう、抽選に並んで下さい。

第二回の弁論内容：★原告側書面「靖国神社とはなにか」の提出・陳述
★遺族原告の意見陳述などの予定。

●被告側からは「事実関係の認否」についての書面がでる予定です。

裁判終了後、大阪弁護士会館に移動して下さい

弁護団による書面かみ砕き（＝解説）学習会

裁判終了後すぐ 午前11時前頃になるでしょうか

大阪弁護士会館 1205号室

参加費：無料

安倍靖国参拝違憲訴訟の会・関西

（靖国合祀はイヤです・アジアネットワーク）

大阪市中央区内淡路町1丁目3-11 シティコップ上町402号

市民共同オフィスSORA内 Fax 06-7777-4925

二次原告も提訴しました！

9月18日、台湾・沖縄原告を含む222名の二次原告も大阪地裁に提訴しました。

一次二次併せて768名、東京訴訟団も入れて1000名越えの大原告団になりました。安倍政権の排外と戦争政策の前に、靖国思想の前に立ちはだかろう！

安倍首相靖国参拝 違憲訴訟

安倍首相に
法廷で
語ってもらおう!

私だって戦争賛美の「靖国」なんていややあ!
訴訟団支援で意思表示しま〜す!

広範な支援を呼びかけます。

この訴訟は排外を煽り、戦争遂行を推し進める安倍政権や一連の平和を踏みにじろうとする勢力に立ち向かう私たちの意思表示です。原告としてだけでなく、

安倍首相靖国参拝違憲訴訟は、小泉参拝違憲訴訟で違憲判決を勝ち取った人たちを含む台湾の原告、沖縄の合祀取消訴訟を闘った皆さんも加わり七六八原告で提訴しました。

安倍の参拝は、このような「合祀」という強力な情宣活動の中で極めて重要な役割を果しています。安倍は靖国と一体となって戦争準備を行っています。

靖国の本質は、戦争で死んだ人を「天皇のために進んで命をささげた人」として顕彰し、後に続く若者たちの模範として利用するということにあります。それが「靖国合祀」です。この顕彰と利用は、植民地とされた韓国台湾の人びとにも及んでいます。靖国神社は、台湾植民地化の過程で死んだ日本軍人・警察官を合祀・顕彰する施設に、アジア・太平洋戦争に動員された台湾原住民を合祀し、顕彰・利用しています。また、沖縄では、日本軍によって避難していた壕から追い出された住民や自決（集団強制死）を強いられた人たちが、「進んで皇軍に協力して死んだ」と意味づけられて靖国に合祀され、顕彰・利用されています。

お願い

訴訟団のサポーターに
なって下さ〜い

年会費 一口 ￥1000

振込先 郵便振込口座

口座番号 00980-8-35073

口座名 靖国抗議アジア訴訟団

サポーターの皆さんには訴訟進行状況、裁判日等の掲載発行している「アジアネットワーク通信」をお届けします。

「こんな社会はイヤです」若者原告の声を聞いて下さい

★かつて、私たちの民族は日本による残酷な植民統治を受けました。安倍の靖国参拝に対し、私たち若者世代は極めて重大な脅威を感じています。私の夫は日本人です。私たちは民族対立を煽る如何なる言論や行為に対しても断固として反対します。私はここにアジアの若者世代に対し、声を大にして訴えます。平和の護持は我々の責任であると！（台湾原住民原告34才）

★被告らは私たちの平和的生存権を侵害しています。私は戦争に行きたくありませんし、靖国神社に祀られたくありません。（24才男子原告）

★私が訴訟に加わるのは「平和」を求めるからです。その平和とは戦争が勃発することをもって「平和」の崩壊というのでしょうか…、友人との他愛もない会話がこれからも続くこと、大切なひとたちの幸福を願えること。自分がいずれ母となることを、何の不安もなく夢見ることができること…嫌なことを「嫌だ」と主張しても不当な誹謗中傷を受けないこと。これら私の思い描く「平和」な社会の要件です。こんな当たり前のことをすべて安倍の靖国参拝によって侵害されています。（25才女子原告）